

あしおえき きげん ひんこ
35 足尾駅危険品庫 (大正3年)

日光市足尾町掛水字上掛水2316



足尾駅上り線プラットホームの南端にある、赤煉瓦で造られた建物です。現在は使用されていませんが、灯油を中心とする危険物の収納庫として使用されていました。ごく小規模な建物ですが、正面にアーチ型の出入口を、右側面に小さなアーチ窓を設けている華やかなデザインとなっています。

あしおえき てこにもつ ほかんこ
36 足尾駅手小荷物保管庫 (昭和10年)

日光市足尾町掛水字上掛水2310



足尾駅の改札を通りすぐ右側にある小さな木造の建物で、今で言う宅配便の荷物を保管していた場所です。昔は荷物を送るときは汽車が主に使用され、駅に到着した荷物を持ち主が受け取りに来ていました。現在は使われていませんが、国鉄時代の足尾駅関連施設として貴重なものです。

あしおえき かもつ うわや
37 足尾駅貨物上屋及びプラットホーム (大正元年)

日光市足尾町掛水字上掛水2309他



足尾駅舎の北側にあるおよそ縦20m、横5mほどの細長い木造平屋建ての建物は、現在は使われていませんが、かつては貨物列車の停車場として使われていました。建設当時の建物とプラットホームが今も残っており、足尾銅山の貨物輸送を目的として開通された足尾鉄道にとって、重要な施設として活用されていました。

まつきがわ きょうりょう
38 第一松木川橋梁 (大正3年)

日光市足尾町字田元



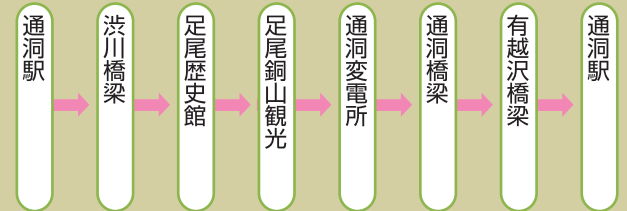
足尾駅から下り線で約2分、間藤駅から上り線で約1分で見えはじめます。全長56m、上路式プレートガーダー形式の橋です。橋桁を支える橋脚は、今から百年以上前にイギリスの会社で使用されていたものを転用したもので、全国的に見ても残存事例の少ない橋です。

通洞駅散策マップ

足尾銅山観光コース

通洞駅から、足尾銅山観光や足尾歴史館に立ち寄り、江戸から昭和にかけて日本一の銅山として栄えた足尾を散策する歴史体感コース

- 歩行時間約1時間 (施設での見学時間等除く)
- 歩行距離約2km



足尾銅山観光

